

履修年度	2023
担当教員	杉田 明宏
連番	110300HG051
曜日・時限・開講期	木曜日 5時限 前期
期間	前期
授業形態	講義
分野系列	<課題(テーマ)科目>
学年	1年生
単位	2
講義名	人権・民主主義・平和を考える(平和学A)
開講キャンパス	東松山
科目ナンバリング	910PEST0011J
科目とDPの関連	AG1★3
備考	
最終更新日	2023/11/15 11:17

授業の概要 (Outline of course)	<p>本講義は、平和学の入門講座として、日本が関わる戦争・暴力の具体的な問題について、多角的な分析を行いつつ、平和の創造への考察を深める。平和学Aでは「核問題からの平和学」というテーマで、とりわけ原爆・核兵器を含む核問題と向き合ってきた人類社会の歩みを跡づけながら、被爆70年、NPT会議を迎える2015年の現状と課題を多面的に考察していく。映像資料を積極的に活用し、ゲスト講師も招くなど、多様なアプローチを試る。 *なお、本講義は、核兵器廃絶をめざす平和市長会議が推進する「広島長崎講座」 &lt;<a href="http://www.mayorsforpeace.org/jp/hnpc/hnpc_top.htm">http://www.mayorsforpeace.org/jp/hnpc/hnpc_top.htm</a>&gt;にも登録されている。</p>
授業の到達目標 (Attainment targets of Course)	<p>本授業の到達目標は以下の通り。 A. 原爆・核兵器問題に関し、多面的・包括的な関心をもつことができるようになること。 B. 核の暴力と向き合い、克服していく人類社会の歩みを跡づけながら、核兵器問題を考察するための諸課題・視点を整理して分析できるようになること。 C. 本テーマに関して平和学の暴力-平和論の基本的な概念を使って分析できるようになること。 D. 本テーマに関わる映像・文献・資料館・体験者等の多様な平和学習資源にアクセスする経験をもつこと。</p>
DP一覧表・科目ナンバリングについて (DP List and Course Numbering)	<p>■DP一覧表 <a href="https://www.daito.ac.jp/information/open/collage/">https://www.daito.ac.jp/information/open/collage/</a> ■科目ナンバリング <a href="https://www.daito.ac.jp/information/open/college/numbering/list.html">https://www.daito.ac.jp/information/open/college/numbering/list.html</a></p>
授業の方式 (Course)	対面方式

method)

授業の方法

①  
(Methods of teaching 1)

授業方法は、講義、映像視聴、戦争経験者(被爆者)からの聴き取りを柱としつつ、学外フィールドワーク等を推奨する。

特徴

該当有無

A: 企業や自治体と連携した課題解決型学習(PBL)

B: 討議(ディスカッション、ディベート等)

C: グループワーク

D: プレゼンテーション

E: 実習、フィールドワーク

授業の方法

②  
(Methods of teaching 2)

F: 双方向授業(ICT活用あり: クリッカー、DBmanaba等)

G: 双方向授業(ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等)

H: 授業前に課題等で事前学習し、授業では復習や応用を行う(反転授業)

I: 外国語のみで行われる授業

J: インターネット等で無償で入手可能な授業教材等を利用した授業

あり

K: 統一試験結果に基づくクラス編成による授業

L: 少人数クラス編成による授業

M: 国内の特定の地域に対する理解を深めることを目的とした授業

授業計画  
(Class schedule)

授業内容

担当教員

第1回(Day 1)

オリエンテーション 核問題の布置

杉田明宏

準備学修(予習・復習等)

必要な時間

授業の振り返り・質問をmanabaに提出

4時間

授業内容

担当教員

第2回(Day 2)

核兵器開発の歴史と現状

杉田明宏

準備学修(予習・復習等)

必要な時間

授業の振り返り・質問をmanabaに提出

4時間

授業内容

担当教員

第3回(Day 3)

核兵器被害の実相1

杉田明宏

準備学修(予習・復習等)

必要な時間

授業の振り返り・質問をmanabaに提出

4時間

第4回(Day 4)

授業内容

担当教員

	核兵器被害の実相2	杉田明宏
	準備学修(予習・復習等)	必要な時間
	授業の振り返り・質問をmanabaに提出	4時間
	授業内容	担当教員
第5回(Day 5)	核兵器被害の実相3	杉田明宏
	準備学修(予習・復習等)	必要な時間
	授業の振り返り・質問をmanabaに提出	4時間
	授業内容	担当教員
第6回(Day 6)	核兵器廃絶への歴史と現況 課題1	杉田明宏
	準備学修(予習・復習等)	必要な時間
	授業の振り返り・質問をmanabaに提出	4時間
	授業内容	担当教員
第7回(Day 7)	核兵器廃絶への歴史と現況 課題2	杉田明宏
	準備学修(予習・復習等)	必要な時間
	授業の振り返り・質問をmanabaに提出	4時間
	授業内容	担当教員
第8回(Day 8)	核廃絶の展望 被爆者・原水禁運動	杉田明宏
	準備学修(予習・復習等)	必要な時間
	授業の振り返り・質問をmanabaに提出	4時間
	授業内容	担当教員
第9回(Day 9)	核廃絶の展望 非核地帯／自治体運動	杉田明宏
	準備学修(予習・復習等)	必要な時間
	授業の振り返り・質問をmanabaに提出	4時間
	授業内容	担当教員
第10回(Day 10)	核廃絶の展望 核兵器禁止条約と課題1	杉田明宏
	準備学修(予習・復習等)	必要な時間
	授業の振り返り・質問をmanabaに提出	4時間
	授業内容	担当教員
第11回(Day 11)	核廃絶の展望 核兵器禁止条約と課題2	杉田明宏
	準備学修(予習・復習等)	必要な時間
	授業の振り返り・質問をmanabaに提出	4時間

	授業内容	担当教員
第12回 (Day 12)	核廃絶の展望 核兵器禁止条約と課題3	杉田明宏
	準備学修(予習・復習等)	必要な時間
	授業の振り返り・質問をmanabaに提出	4時間
	授業内容	担当教員
第13回 (Day 13)	被爆証言を聴く	杉田明宏
	準備学修(予習・復習等)	必要な時間
	授業の振り返り・質問をmanabaに提出	4時間
	授業内容	担当教員
第14回 (Day 14)	質疑・補足講義	杉田明宏
	準備学修(予習・復習等)	必要な時間
	授業の振り返り・質問をmanabaに提出	4時間
	授業内容	担当教員
第15回 (Day 15)	まとめと総合考察	杉田明宏
	準備学修(予習・復習等)	必要な時間
	授業の振り返り・質問をmanabaに提出	4時間

フィードバックの方法 (Feedback method)

manabaや次回授業で回答・コメント

教科書 (Textbooks)

プリント教材と映像資料により進める。

参考文献など (Books for reference)

ヨハン・ガルトウング著『ガルトウング紛争解決学入門』(法律文化社, 2014年, 3240円)、ピースデポ編『イアブック 核軍縮・平和2017』(高文研, 2017年, 3500円) 他、随時紹介する。

	評価方法	割合	評価基準
成績評価の方法・基準 (Assessment procedures and Standards for Academic results)	筆記試験	0	% 無し
	実技評価	0	% 無し
	レポート評価	60	% 学期末レポートによる
	平常点評価	40	% コメントペーパー記入・発表等により授業への参加度を評価
	その他	0	% 無し

履修上の注意 (Important)

原発問題を扱う平和学B(次年度)を履修することで、理解が深めることができる。

notes for  
applying  
to  
the course)

実務経験①  
(Practical  
experience  
1)

なし

実務経験②  
(Practical  
experience  
2)

なし

その他  
(Others)

講義中に紹介する参考文献やインターネットの情報に積極的にアクセスすることを求める。また、現在進行形の問題でもあるため、学外のイベント等、平和に関する研究・学習の場に参加して学習を深めることを推奨する。